

■コミュニケーション学部メディア社会学科の教員養成目標

■メディア社会学科■

■中学校一種（社会）

コミュニケーションは人間と社会の成立基盤である。コミュニケーション学部は、そのコミュニケーションの本質を追究すると同時に、コミュニケーションにかかわる問題の分析と解決を図りうる市民、専門家を養成し、その基盤となる教育研究を推進する。

コミュニケーション学部は、社会におけるコミュニケーション関連分野で活躍しうる人材の養成を目的とする。それを達成するため、理論と実践の両面からコミュニケーションの本質と重要性にかかわる多面的教育を行い、情報処理能力や批判的読解能力、表現能力や伝達能力、関係形成能力の向上を図る。

この目的を達成するため、本学メディア社会学科は、テレビや新聞などの従来からのメディアと、インターネットをプラットフォームとした現代のさまざまなメディアを統合的に捉え、これらが作り出している社会環境やその上で行われる組織・企業のコミュニケーション活動に関する理解を通じ職業・日常生活で求められる知識と技能を広く学ぶ。本学科における教員養成は、日本や世界の歴史の変遷を概観し、現代の経済社会を規定する諸要因の形成過程や文化人類学的な視点について学び、歴史的思考力を養うとともに、経済活動の基礎となる市場の概念や経済主体の行動を学ぶことで、中学校の社会科教員として求められる必要かつ十分な知識と、それを教材として運用できる能力を兼ね備え、複雑化、多様化し、国際化する学校教育現場に、適切に対応できる教員を養成する。

■メディア社会学科■

■高校一種（公民）

コミュニケーションは人間と社会の成立基盤である。コミュニケーション学部は、そのコミュニケーションの本質を追究すると同時に、コミュニケーションにかかわる問題の分析と解決を図りうる市民、専門家を養成し、その基盤となる教育研究を推進する。

コミュニケーション学部は、社会におけるコミュニケーション関連分野で活躍しうる人材の養成を目的とする。それを達成するため、理論と実践の両面からコミュニケーションの本質と重要性にかかわる多面的教育を行い、情報処理能力や批判的読解能力、表現能力や伝達能力、関係形成能力の向上を図る。

この目的を達成するため、本学メディア社会学科は、テレビや新聞などの従来からのメディアと、インターネットをプラットフォームとした現代のさまざまなメディアを統合的に捉え、これらが作り出している社会環境やその上で行われる組織・企業のコミュニケーション活動に関する理解を通じ職業・日常生活で求められる知識と技能を広く学ぶ。本学科における教員養成は、日本や世界の歴史の変遷を概観し、現代の経済社会を規定する諸要因の形成過程や文化人類学的な視点について学び、歴史的思考力を養うとともに、経済活動の基礎となる市場の概念や経済主体の行動を学ぶことで、高等学校の公民科教員として求められる必要かつ十分な知識と、それを教材として運用できる能力を兼ね備え、複雑化、多様化し、国際化する学校教育現場に、適切に対応できる教員を養成する。